

Online 教会と音楽セミナー・第6クール 全2回

新大陸への玄関口 セビーリャ/ハンザ同盟の盟主 リューベック

教会と音楽セミナー〈総論〉では、ヨーロッパの歴史と共に教会の建築の変遷と、音楽の変遷について学び、〈各論〉では、毎回一つの街にフォーカスし、ぜひ訪れたい教会とともに、**宮殿などの歴史的建造物、街の歴史、活躍した人々と音楽の関わり**についてご紹介します。第6クールで取り上げるのは、セビーリャ（スペイン）とリューベック（ドイツ）です。

セビーリャ＝スペイン南のアンダルシア地方は、15世紀までイスラム教の支配が残り、その影響を受けた建造物が多く現存しています。一方、教会音楽は保守的で厳格なカトリックの様式が貫かれ、セビーリャの港からアメリカ大陸へと渡った音楽家もいました。様々な文化の交差点セビーリャのきらびやかな聖堂とそこで奏でられた音楽を聴いてみましょう。

リューベック＝北ドイツの交易の要として繁栄したリューベックでは、大規模なパイプオルガンが数多く建造され、その音楽を聴くためにバッハがこの街を訪れたのは有名な逸話です。世界遺産に登録された歴史的な町並みや、レンガ作りの重厚な教会堂を見ながら、バッハも憧れた17世紀の最先端の音楽を聴いていきましょう。

【講座の目的】

●一つの都市にフォーカスすることで、より深く、街の歴史と共に、関わりがあった音楽家を知ることができる

●実際にその街を訪れた時に、歴史を感じ、理解が深まる

【オンライン講座の特徴】

●セミナー構成：**講義(70分)+質疑応答(20分)**

●**手頃な料金**：リーズナブルな料金で講義をご提供！



●**全国から参加可能**：人気の先生の教室に、日本全国、世界中からエントリー可能！

●**見逃し配信(7日間)**：ライブで参加できなかった方、復習したい方のために、

たっぷり7日間、講義録画をYouTubeにて限定配信！（Gmailアドレス保有者のみ）

皆様のご参加をお待ちしております



	開催日時	テーマ / 内容	
第1回	2022年 1月8日(土) 10:30-12:00	講義：セビーリャの教会と音楽(70分) ・セビーリャ大聖堂の聖歌隊員の生活 ・キリスト教会に残るモスクの痕跡 ・スペインのパイプオルガンに共通するのは ★観光名所★ セビーリャ大聖堂、サルバドル教会、アルカサル、メスキータ（コルドバ）、アルハンブラ宮殿（グラナダ）ほか	
第2回	2022年 2月5日(土) 10:30-12:00	講義：リューベックの教会と音楽(70分) ・マリエン教会のオルガニストたち ・現在のコンサートの先駆け「タバの音楽」 ・バッハが北ドイツのオルガニストに憧れた訳 ★観光名所★ ホルステン門、マリエン教会、ヤコビ教会、大聖堂、聖アンナ博物館 ほか	

◎ **講師： 渡邊温子（チェンバロ奏者 武蔵野学院大学・大学院非常勤講師）**

国立音楽大学、ドイツ・ヴェルツブルク音楽大学卒。有田千代子、グレン・ウィルソン諸氏に師事。2002年より3年間ワシントンDCに滞在、アメリカ古楽界を牽引する演奏家と共演。現在は演奏活動とともにメールマガジン『月刊バロック通信』や市民講座などを通じて古楽の魅力を広める活動を展開。2016年7月『古楽でめぐるヨーロッパの古都』を上梓。武蔵野学院大学・大学院非常勤講師。タニタ楽器音楽教室チェンバロ科講師。日本チェンバロ協会会員。ブログ：チェンバロ弾きのひとりごと



◎ **参加費用：** 各回 お一人様 **2,500円**（消費税込み）
 全2回 **5,000円**（消費税込み）

◎ **お申込み・お支払い：** 当社ホームページから、クレジットカード決済のみ

◎ **キャンセル規定：** お申込み～4日前 5%（カード決済手数料）、3日前～当日100%

◎ **最少催行人数：** 各回とも 25名様（最大98名様まで）

◎ **お申込・お問合せ：** **株式会社アイ・ティ・エス (i Travel Square)**

website: <https://i-travel-square.tokyo/church-music-online6/>

email: info@i-travel-square.tokyo tel: 03-6706-4700

